



40

# 追分高校です

## 学習成果発表会

1月30日、追分高校は、3年生が選択科目の授業で学んだ成果を在校生や保護者、地域に公開する「学習成果発表会」を体育館で開いた。

12科目ある選択科目から4科目を選択し、町の教育資源を活用した校内外での実習や外部講師を迎えた学習に取り組むこと等を通して、教育活動の特徴としている独自の選択科目の実施と言語活動の充実を目指したもので、リハールと当日の進行は生徒が自主的に行う伝統行事がある。

「音楽表現」では初心者

が1年かけて練習した成果をグランドピアノで演奏。「生活福祉援助技術」では高齢者との交流や施設見学で学んだ介護職の紹介と手話の披露。「マルチメディア」ではパソコンで作ったアニメーション作品の上映。「ブラッッシュアップイングリッシュ」ではノーベル平和賞受賞のマララ・ユスフザイさんのスピーチの再現や、童話「おおきなかぶ」の英語劇の上演。「数学B」では確立のモンティ・ホール問題はの追及。「食物研究」では地元食材使い、地元のプロの調理人を講師に迎えた調理実習の成果等をそれぞれ発表した。

三浦校長先生は講評で「3年生の成長を感じた。グランドピアノを弾く経験、高齢者福祉や国際平和をテーマとした発表は今後の成長の糧になると信じている。」と述べ、代表生徒は「3年間の追分の学びを今後の生活に生かしたい。」と決意を語った。(学習成果発表会の様子は、北海道新聞と苫小牧民報にも紹介されました。)

追分公民館ロビーコンサートでのボランティア活動



学習成果発表会  
英語劇「おおきなかぶ」

## 追分公民館ロビーコンサートボランティア

2月7日、平成26年度追分公民館ロビーコンサートくアイスキャンドルとコンサートのタベが行われた。

追高生も金谷麻里子養護教諭を中心に、連日続く寒さの中追分高校でのアイスキャンドル作りに加え、当日は1年生7名、3年生6名が会場設営やキャンドルの設置と点火作業、そしてコンサート進行アナウンスのボランティアとして参加した。

アイスキャンドル作りを3年間続けた感謝の印として、キャンドルスタッフの米田典勇さんから「追高」とデザインされた木彫りのプレートが3年生達に贈られると、「一緒に作業をしたスタッフの皆さんの温かさが、3年間ボランティアを続けられた原動力でした。このキャンドルの灯は後輩たちが受け継いでくれるはず。作業後の冷えた体を温めてくれた美味しい豚汁の味は一生忘れません。」と3年間を振り返っていた。

**追高＝一人ひとりが主役の学校**  
追分高校は、少人数だからこそ、強い絆で結ばれた仲間と出会え、誰もが主役になれる学校です。  
追分高校の教職員は、生徒一人ひとりをかけがえのない存在として認め、3年間かけて、自律した18歳に育て上げます。  
**追高＝一人ひとりを伸ばせる学校**

▶ 皆様のご意見をお寄せください ◀  
北海道追分高等学校 (☎・FAX ☎ 2555)  
〒059-1911 安平町追分本町7丁目8番地  
ホームページをリニューアルしています。  
ぜひ、ご覧ください。  
【<http://www.oiwake.hokkaido-c.ed.jp/>】